

AMANO REPORT

第101期 第2四半期
中間報告書
2016年4月1日～2016年9月30日



Contents

株主の皆様へ	1
トップインタビュー	2
新中期経営計画	3
事業概況	4
連結財務諸表（要旨）	5
トピックス	7
ネットワーク	9
会社概要	10
株式の状況・株主メモ	

TIME & ECOLOGY
AMANO

証券コード 6436

株主の皆様には、平素より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、創業以来「人と時間」「人と環境」を企業テーマに掲げ、全事業活動の座標軸を顧客満足におき、全ての社員がお客様の声を聞く「顧客第一主義」を基本方針としております。また、株主の皆様にとって魅力ある企業であるために企業価値（現在価値+将来価値）の最大化を図ることを経営の重点戦略としてまいりました。

2014年4月よりスタートした第6次中期経営計画において、100年企業を目指した「新たなステージへの挑戦」を経営コンセプトに掲げ、市場・プロダクトのグローバル展開、総合提案ビジネスの拡大に取り組むとともに、徹底的な顧客ニーズの掘り起こしに注力し、原価低減、販管費抑制にも努めた結果、当中間期の連結業績は、売上高・利益ともに増収増益となりました。

中間配当金につきましては、配当の基本方針に基づき、株主の皆様のご支援にお応えするため、期初予定通り1株当たり23円とさせていただきます。

下期の経営環境につきましては、わが国経済は、中国など新興国の減速や英国のEU離脱問題、為替の円高基調による不安定な状況が続く中、輸出が伸び悩み、設備投資や個人消費の動きは弱含みであり、景気の先行き不透明感が続くものと考えられます。

このような経営環境の中で、当社およびグループ各社は、第6次中期経営計画に基づき全社一丸となって業績目標の達成に向けて、経営計画を着実に実行するとともに、更なる経営基盤の強化・拡大を図る所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何とぞ倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

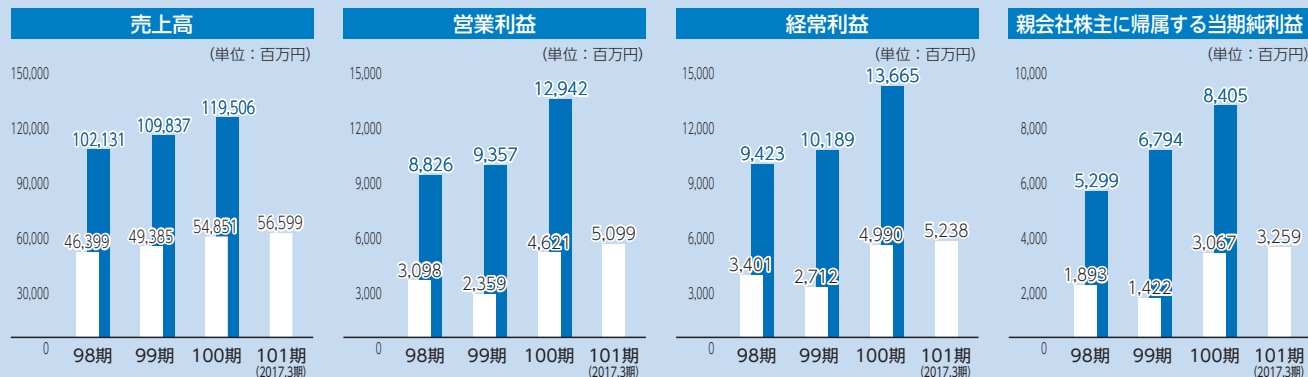


代表取締役社長 中島 泉

2016年12月

財務ハイライト（連結）

■ 2017.3期 中間期（第2四半期） ■ 通期



第101期第2四半期報告書をお届けするにあたり、代表取締役社長 中島泉へのインタビューを通して当社の現状と今後の取り組みをご説明いたします。

Q1 当中間期の連結業績の概要についてお聞かせください。

A1 当中間期におけるわが国経済は、海外では米国経済が引続き堅調に推移する一方で中国など新興国の減速、英国のEU離脱問題等により不安定な状況が続く中、国内では雇用環境や設備投資は底堅いものの、円高に伴う輸出の伸び悩みや長引く個人消費の低迷など、景気の先行き不透明感は継続しているものと考えられます。

このような状況下、2017年3月期第2四半期連結売上高は、565億99百万円（前年同期比3.2%増）となりました。事業部門別では、情報システムは、国内はアマノ単体が情報ターミナルは増加したもののソフトウェアは減少し減収、国内グループ会社のクラウドサービスは増収、海外は北米が減収となったものの欧州が買収効果もあり増収、全体では前期比0.7%の減収となりました。パーキングシステムは、国内はアマノ単体が中小型駐車場および駐輪場での受注拡大、国内グループ会社の運営受託事業も順調に拡大し増収、海外は北米の新システムの受注増加や韓国・香港の運営受託事業が拡大するも為替の影響により減収、全体では前期比7.1%の増収となりました。環境システムは、国内はアマノ単体が汎用機・大型システムともに受注が拡大し増収、海外は中国経済減速や為替の影響により減収、全体では前期比2.1%の増収となりました。グリーンシステムは、国内はアマノ単体が洗浄機の

受注が低迷し減収、海外は北米の木材床研磨機器事業が好調に推移し増収、全体では前期比0.1%の減収となりました。

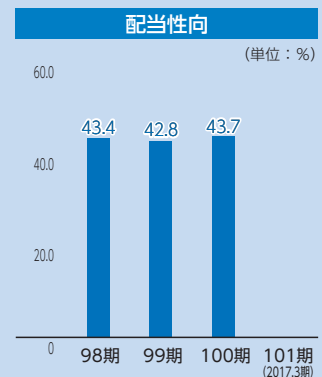
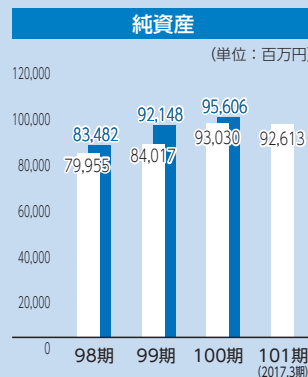
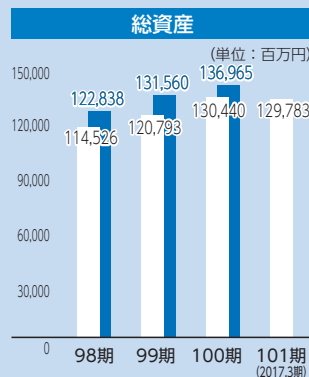
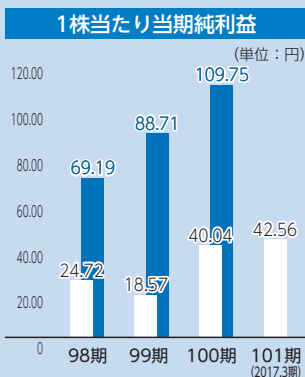
利益につきましては、海外グループ会社は中国経済の減速や円高の影響により減益となりましたが、アマノ単体の増収効果や原価・経費削減活動による増益、国内グループ会社の増益により、営業利益は50億99百万円（前期比10.3%増）、経常利益は52億38百万円（前期比5.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億59百万円（前期比6.3%増）となりました。

Q2 2017年3月期の通期業績予想についてお聞かせください。

A2 当中間期の業績および足元の事業環境を踏まえた2017年3月期の通期業績予想は、本年4月25日に公表した期初計画を据え置いております。

国内では、景気の先行き不透明な状況が続く中、パーキングシステムや環境システムが引き続き堅調に推移することが見込まれ、加えて情報システムでは新ソフトウェア「TimePro-NX」の拡販により売上拡大に取り組んでまいります。

海外では、為替の円高基調やアジアにおける中国経済減速の影響はあるものの、北米・欧州を中心に現地通貨ベースでは増収増益を目指してまいります。以上のことを踏まえ、連結売上高1,220億円、営業利益130億円の達成に邁進してまいります。



Q3 第6次中期経営計画の進捗状況についてお聞かせください。

A3 第6次中期経営計画は、「新たなステージへの挑戦－規模の拡大と成長ドライブの構築－」を経営コンセプトとして掲げてスタートいたしました。

現在、国内外グループ会社との連携により、新市場開拓や新規事業構築に取り組んでおります。新市場開拓については、国内では清掃ロボットの新商品を投入し新たな需要の開拓を進めております。北米では引き続き木材床研磨機器市場の業容拡大を図ってまいります。欧州ではフランスのホロクオルツ社がWorkforce Managementシステムのクラウド展開を進めております。また、日系企業の進出が著しいメキシコでは本年設立した現地法人にて、自動車関連企業を中心とした汎用機の拡販を推進すべく営業活動を強化しております。

新規事業構築については、財務会計市場参入は、2014年4月に専門部隊を設け、株式会社クレオとの連携に取り組んでおります。今後も中堅・大規模企業向け市場での就業・人事・給与・会計のコンサルティング営業の推進強化により、情報システムの事業拡大を目指してまいります。また、ネットビジネスは着実に会員数が増加しており、引き続き顧客数の拡大を図ってまいります。今後も新規事業の立ち上げ、新市場開拓やアライアンス戦略を通じて、一層の業容拡大を図ってまいります。

基本方針

2014年4月よりスタートした新中期経営計画は、100年企業を目指した「新たなステージへの挑戦」を経営コンセプトとして掲げ、次の4つの重要課題に取り組んでまいります。

- (1) 企業規模の拡大
- (2) 経営効率の向上
- (3) 連結経営の強化
- (4) コーポレートガバナンスの進化



数値計画

本計画の最終年度である2017年3月期に売上高1,220億円、営業利益130億円の業績達成を目指してまいります。

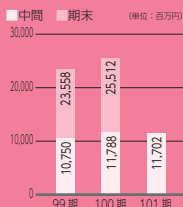
(単位：百万円)

	2015年3月期 (実績)		2016年3月期 (実績)		2017年3月期 (修正)	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
売上高	109,837	7.5%	119,506	8.8%	122,000	2.1%
営業利益	9,357	6.0%	12,942	38.3%	13,000	0.4%
営業利益率	8.5%	—	10.8%	—	10.7%	—
経常利益	10,189	8.1%	13,665	34.1%	13,500	△1.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,794	28.2%	8,405	23.7%	8,800	4.7%

情報システム

売上高

11,702 百万円
(前年同期比0.7% ↓)

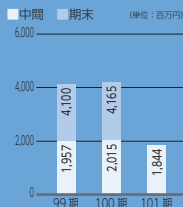


国内実績は、アマノ単体が前年同期に比べ、ハードウェアは5.7%増収、ソフトウェアは11.0%減収、メンテ・サプライは2.6%増収となりました。ハードウェアの増収は、大型物件及び情報ターミナルの増加、ソフトウェアの減収は新ソフトウェア「TimePro-NX」の受注活動の立ち上がりが遅れたことによるものです。アマノビジネスソリューションズ社のクラウドサービスは、需要が着実に拡大し、二桁の増収となりました。海外の実績は、北米は減収、欧州は昨年買収したアクセスコントロール事業が寄与し増収となり、海外全体では0.6%減収となりました。

時間管理機器

売上高

1,844 百万円
(前年同期比8.5% ↓)

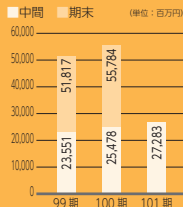


国内実績は、前年同期に比べ、サプライ品の売上が減少し、全体では3.2%減収となりました。海外の実績は、アジアでは増収も北米、欧州の減収により、海外全体では19.2%減収となりました。

パーキングシステム

売上高

27,283 百万円
(前年同期比7.1% ↑)

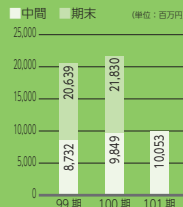


国内実績は、アマノ単体が前年同期に比べ、駐車場機器は23.6%増収、メンテ・サプライは2.1%増収となりました。アマノマネジメントサービス社による運営受託事業は順調に拡大し増収となり、受託車室数は前期末比8.2%増加いたしました。海外の実績は、北米は新システムの堅調な受注増加、アジアは韓国・香港の運営受託事業が順調に拡大するも、為替の影響により減収となり、海外全体では1.8%減収となりました。

環境システム

売上高

10,053 百万円
(前年同期比2.1% ↑)

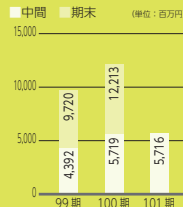


国内実績は、アマノ単体が前年同期に比べ、汎用機は1.6%増収、大型システムは19.5%増収、メンテ・サプライは10.1%増収となりました。海外の実績は、中国経済減速の影響および為替の影響により、海外全体では30.8%減収となりました。

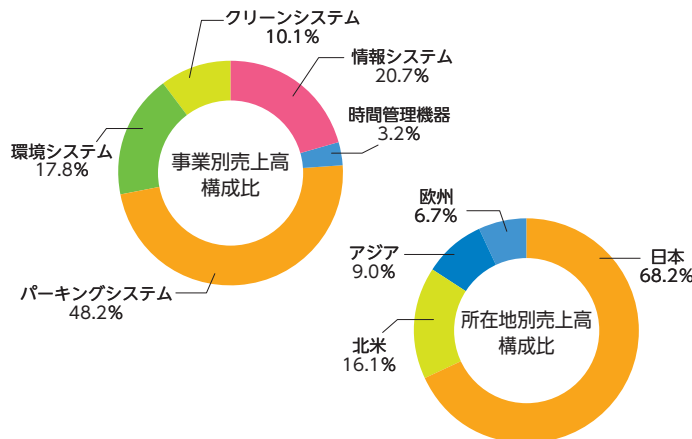
クリーンシステム

売上高

5,716 百万円
(前年同期比0.1% ↓)



国内実績は、アマノ単体が前年同期に比べ清掃機器は5.4%減収、メンテ・サプライは7.6%減収となりました。海外の実績は、北米は木材床研磨機器事業が好調に推移し増収となり、海外全体では6.3%増収となりました。



第2四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

Point ① 流動資産

受取手形及び売掛金
56億25百万円減少
現金及び預金
7億84百万円減少

	第100期 (2016.3.31)	第101期 (2016.9.30)		第100期 (2016.3.31)	第101期 (2016.9.30)
資産の部			負債の部		
① 流動資産	85,875	80,269	② 流動負債	34,134	30,215
固定資産	51,090	49,513	③ 固定負債	7,225	6,953
有形固定資産	23,589	23,537	負債合計	41,359	37,169
無形固定資産	13,276	12,128	純資産の部		
投資その他の資産	14,223	13,848	株主資本	97,233	98,347
資産合計	136,965	129,783	その他の包括利益累計額	△2,043	△6,103
			非支配株主持分	416	370
			④ 純資産合計	95,606	92,613
			負債純資産合計	136,965	129,783

Point ⑤ 売上高

パーキングシステム及び環境システムを中心に伸長し、売上高は前年同期比3.2%の増収となりました。

Point ⑥ 営業利益

増収効果および経費削減活動が寄与し、営業利益は前年同期比10.3%の増益となりました。

Point ⑦ 経常利益

為替差損を計上したものの、営業増益の影響により、経常利益は前年同期比5.0%の増益となりました。

第2四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

	第100期 (2015.4.1~ 2015.9.30)	第101期 (2016.4.1~ 2016.9.30)		第100期 (2015.4.1~ 2015.9.30)	第101期 (2016.4.1~ 2016.9.30)
⑤ 売上高	54,851	56,599	特別利益	0	0
売上原価	31,548	32,226	特別損失	88	31
売上総利益	23,303	24,373	税金等調整前 四半期純利益	4,902	5,207
販売費及び 一般管理費	18,682	19,274	法人税等	1,799	1,900
⑥ 営業利益	4,621	5,099	四半期純利益	3,102	3,306
営業外収益	427	349	非支配株主に帰属 する四半期純利益	35	47
営業外費用	58	210	⑧ 親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,067	3,259
⑦ 経常利益	4,990	5,238			

Point ② 流動負債

支払手形及び買掛金
17億47百万円減少
未払法人税等
12億66百万円減少

Point ③ 固定負債

退職給付に係る負債
1億79百万円減少

Point ④ 純資産

株主資本
11億13百万円増加
為替換算調整勘定
40億50百万円減少

Point ⑧ 親会社株主に 帰属する 四半期純利益

経常増益の影響により、
親会社株主に帰属する四
半期純利益は前年同期比
6.3%の増益となりました。

Point ⑨ 営業CF

税金等調整前四半期純利益
52億7百万円
売上債権の減少額
39億75百万円
法人税等の支払額
30億93百万円

Point ⑩ 投資CF

有形固定資産の取得による支出
13億25百万円
無形固定資産の取得による支出
12億84百万円

Point ⑪ 財務CF

配当金の支払額
21億44百万円
短期借入金の返済による支出
11億75百万円

第2四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	第100期 (2015.4.1～ 2015.9.30)	第101期 (2016.4.1～ 2016.9.30)
四半期純利益	3,102	3,306
その他の包括利益合計	△418	△4,112
その他有価証券評価差額金	△196	△109
為替換算調整勘定	△285	△4,102
退職給付に係る調整額	56	99
持分法適用会社に対する持分相当額	7	0
四半期包括利益	2,684	△805
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,649	△800
非支配株主に係る四半期包括利益	34	△4

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	第100期 (2015.4.1～ 2015.9.30)	第101期 (2016.4.1～ 2016.9.30)
⑨ 営業活動によるキャッシュ・フロー	6,280	6,244
⑩ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,033	△2,115
⑪ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,183	△3,134
現金及び現金同等物に係る換算差額	△70	△1,130
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,993	△136
現金及び現金同等物の期首残高	30,526	32,725
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,520	32,589

パーキングシステム

中小規模駐車場システム受注拡大 駐輪場システム好調！

国内における駐車場案件の増加により、駐車場ゲートシステムの受注が好調です。大手駐車場管理会社との連携を一層強化するとともに、中小駐車場管理会社には駐車場データセンターを介した各種サービスの提供が順調に拡大しております。

また、自転車やバイクの駐輪場も大型商業施設の整備が拡大する一方、公共駐輪場管理の民間事業者の活用が進み、駐輪場システムの受注も拡大しています。

今後もIoT時代を見据えたハード、ソフト、データセンターサービス、運営管理のトータル提案による事業拡大に取り組んでまいります。

Parking Systems



環境システム

汎用機、大型システム受注好調 オイルミストコレクター「EM-eⅡ」 日本産業機械工業会会長賞を受賞！

中国経済の減速などにより、海外の事業環境は厳しいものの、国内における設備投資は底堅く、工作機械にセットするオイルミストコレクターや製薬・食品・化粧品市場向けのステンレス製集塵機等、汎用集塵機の受注が増加しています。大型システムについても自動車関連の企業を中心に順調に受注を拡大しています。

また、平成28年6月に行われた一般社団法人 日本産業機械工業会（後援：経済産業省）の主催する第42回優秀環境装置表彰において、オイルミストコレクター「EM-eⅡ」が高い捕集性能と火災リスク低減の設計による安全性の向上が評価され、日本産業機械工業会会長賞を受賞しました。

これからも、安心・安全と高効率・省エネを追求した製品を提供し、さらなる事業の拡大を目指してまいります。

Environmental Systems



受賞した「EM-eⅡシリーズ」

テレビCM放映開始！

本年9月よりテレビCMの放映を開始しました。

今回のCMは、アmanoがどのような事業を展開している会社なのかを具体的に表現しています。オフィスや工場で、また、車でのお出かけの際に、普段何気なく接している当社製品群と、AMANOブランドを合致させる内容となっています。

10月からは、同CMでテレビ東京系列「カンブリア宮殿」（毎週木曜22:00～22:54）の番組提供を開始しています。AMANOブランドの価値向上を目指して、今後も継続的な広告宣伝活動を実施してまいります。

※当社ホームページでもCMをご覧になれます。
http://www.amano.co.jp/about_amano/movie.html



アmanoイメージキャラクター

せいの なな
清野 菜名

■プロフィール

生年月日：1994年10月14日

出身地：愛知県稲沢市

血液型：B型

■主な出演作

【テレビドラマ】

ウロボロス～この愛こそ、正義（2015年）

コウノドリ（2015年）

【映画】

「TOO YOUNG TO DIE!」宮藤官九郎監督（2016年6月公開）

「金メダル男」内村光良監督（2016年10月公開）

「幸福のアリバイ」陣内孝則監督（2016年11月公開）

【舞台】

「サンバイザー兄弟」（2016年11月公演）

「闘腹城の七人（花シーズン）」（2017年3月公演）

時間情報システム



オフィス

環境システム



工場

パーキングシステム



駐車場

クリーンシステム



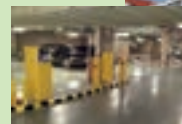
ビルエントランス

Global Network



● TOPICS ● 中国「上海来福士広場（ライフシーグアンチャン）」に 車番認識システム納入！

アmano上海社では、Capitalandグループが開発した大型商業施設「上海来福士広場」に車番認識とスマートフォンでの電子決済による駐車場ゲートシステム（駐車台数：625台）を納入いたしました。国内、海外とも商業施設では利用者の利便性を向上するためのシステム化ニーズが高まっています。今後も拡大が予想される中国市場での販売活動を強化してまいります。



駐車場入口



駐車場出口

Domestic Network

支店・営業所

東北・北海道営業本部 札幌／盛岡／秋田／仙台／山形／郡山
 関東営業本部 大宮／宇都宮／高崎／水戸／埼玉
 東京営業本部 東京／品川／新宿／西東京／錦糸町／千葉／柏
 信越営業部 長野／新潟／長岡／諏訪
 神奈川・静岡営業本部 神奈川／横浜／厚木／藤沢／沼津／静岡／浜松
 中部営業本部 名古屋／豊田／豊橋／四日市／岐阜
 北陸営業部 金沢／富山
 近畿営業本部 大阪／京都／神戸／東大阪／堺／姫路
 中国・四国営業本部 広島／岡山／松江／山口／高松／松山／高知
 九州営業本部 福岡／北九州／長崎／熊本／鹿児島／沖縄

国内グループ会社

アマノマネジメントサービス株式会社
 アマノメンテナンスエンジニアリング株式会社
 アマノビジネスソリューションズ株式会社
 株式会社環境衛生研究所
 アマノ武蔵電機株式会社
 株式会社アマノエージェンシー

生産拠点

相模原事業所
 細江事業所

社 名
 本 社 所 在 地

T E L
 F A X
 ホームページ
 創 業
 設 立
 資 本 金
 従 業 員 数
 営 業 品 目

アマノ株式会社 AMANO Corporation
 〒222-8558
 神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地
 045-401-1441 (代表)
 045-439-1120
<http://www.amano.co.jp/>
 1931年(昭和6年)11月3日
 1945年(昭和20年)11月22日
 182億3,958万円(2016年9月30日現在)
 連結4,585名 単独2,074名(2016年9月30日現在)
 企画・設計・製造・販売・施工・メンテナンス

役 員

●情報システム事業
 ●パーキングシステム事業
 ●環境システム事業
 ●クリーンシステム事業
 ●アウトソーシング事業
 ●時刻配信・認証サービス事業

代表取締役会長	春田	田島	薫
代表取締役社長	中白	石崎	泉
取締役兼常務執行役員	寺	堀	弘
取締役兼常務執行役員	小	木	功
取締役兼執行役員	赤	谷	司
取締役兼執行役員	笹	原	毅
取締役(社外取締役)	井	川	博
取締役(社外取締役)	岸	島	弘
常勤監査役	山	口	嘉
常勤監査役	上	野	彦
監査役(社外監査役)	佐	藤	亨
監査役(社外監査役)	糸	長	志
執行役員	米	澤	秀
執行役員	新	保	実
執行役員	森	田	雄
執行役員	田	近	彦
執行役員	中	藤	眞
執行役員	津	黒	弘
執行役員	十	田	淳
執行役員	澤	朱	之
執行役員	大	田	頻
執行役員	笠	高	宏
執行役員	山	井	男
		崎	隆
			学

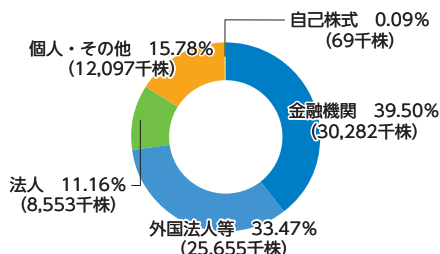
※取締役 岸 勲、川島 清嘉の両氏は社外取締役です。

※監査役 佐藤 佳志、糸長 丈秀の両氏は社外監査役です。

株式情報 (2016年9月30日現在)

発行可能株式総数	185,476,000株
発行済株式の総数	76,657,829株
株主数	11,866名

■所有者別株式分布状況



株主メモ Memo

決算期 毎年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 基準日 毎年3月31日
 その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。
 期末配当金 毎年3月31日
 支払基準日
 中間配当金 毎年9月30日
 支払基準日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関
 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 電話 (0120) 232-711 (通話料無料)
 電子公告
 公告掲載方法 電子公告
 ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載しております。
 当社の広告掲載URLは次のとおりであります。
<http://www.amano.co.jp/>

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

■大株主の状況（上位10名）

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人天野工業技術研究所	6,071	7.92
Northern Trust Co.(AVFC) Re Silchester International Investors International Value Equity Trust	4,702	6.14
第一生命保険株式会社	4,000	5.22
株式会社みずほ銀行	3,824	4.99
日本生命保険相互会社	3,743	4.88
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,112	4.06
Northern Trust Co.(AVFC) Re U.S. Tax Exempted Pension Funds	2,835	3.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,736	3.57
東京海上日動火災保険株式会社	2,448	3.19
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,100	2.74

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

当社ホームページでは、会社情報、投資家情報など、さまざまな情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.amano.co.jp/>



アマノ株式会社

本社／〒222-8558
 横浜市港北区大豆戸町275番地
 TEL. (045) 401-1441 (代表)
 FAX. (045) 439-1120

